

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成30年8月2日 (2018.8.2)

【公表番号】特表2016-535345(P2016-535345A)
 【公表日】平成28年11月10日 (2016.11.10)
 【年通号数】公開・登録公報2016-063
 【出願番号】特願2016-533489(P2016-533489)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/00 (2012.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 F 3/14 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 Q 50/00 3 0 0

G 0 6 F 17/30 1 7 0 C

G 0 6 F 3/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月21日 (2018.6.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

【図 1】図 1 は、ソーシャルネットワークからのソーシャルデータが処理され、ビッグデータ・データベースに保存されることを示す図である。

【図 2】図 2 は、ビッグデータ・データベースに保存されたソーシャルデータがクライアントによって要求され、コンピュータ装置上に表示されることを示す図である。

【図 3 A】図 3 A は、クライアント装置に表示され得る処理されたソーシャルデータの記述の例である。

【図 3 B】図 3 B は、クライアント装置に表示され得る処理されたソーシャルデータの記述の例である。

【図 3 C】図 3 C は、クライアント装置に表示され得る処理されたソーシャルデータの記述の例である。

【図 4】図 4 は、ソーシャルマップを生成するためにソーシャルデータを処理及び提示する例示的な方法を模式的に示す図である。

【図 5】図 5 は、本発明に係るソーシャルマップを生成するための手順を示すフローチャートである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

本発明において、生成されたソーシャルマップは、ソーシャルデータを編成及び分析し、受信した結果を地図上に実時間で表示するための優れた手段である。これは、高性能のビッグデータ処理エンジン及び次世代マップエンジンを活用して、動的（リアルタイム）ソーシャルマップを作成するものである。様々な地理学的レベルで、実時間で処理されたソーシャルデータが地図タイルの方法で提示される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

さらに、それぞれのジオマップのそれぞれのタイル上に、（位置属性に基づいて）このタイル中にカテゴリ分けされたソーシャルデータの属性が計数され、次いでソートされる。トピックの属性については、そのソーシャルデータは、1つのタイル内に、多くの異なるトピックを有することができ、それぞれのトピックは、固有の頻度（カウント数）を有する。例えば、図3Aを参照して、1つのタイルにおいて、そのソーシャルデータは、パーティ、会合、誕生日等々の異なるトピックを有することができ、パーティのトピックは10回言及され、会合のトピックは6回言及され、誕生日のトピックは4回言及されている。したがって、個々のトピックそれぞれの上記頻度（カウント数）に基づいて、これらの個々のトピックがソートされる。例えば、パーティのトピックは最上層に、会合は中間層に、誕生日は最下層にソートされる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

要約すると、ジオマップのそれぞれのタイル中に、トピック、人、画像等の異なる複数の属性カテゴリが存在する。それぞれの属性カテゴリについて、それぞれのカウント数または頻度に基づく個々の属性のソートが実施される。さらに、仮に、2つの個別のトピックが同じ頻度を有するものとする。例えば、会合のトピックと誕生日のトピックの両方のカウント数が5であるとする。この場合、1つのタイル中で同じ頻度を備える個々のトピックは、その最新の計数の実施の時刻に基づいてソートされる。上述した例では、図3Bを参照して、最新の会合のトピックを含むソーシャルデータが午前10時に受信され、最新の誕生日のトピックを含むソーシャルデータが午前10時5分に受信された場合、誕生日のトピックは、それが受信された最新のソーシャルデータ中のものであるため、会合のトピックの上層にソートされる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

したがって、新規のソーシャルデータの位置属性は、この新規のソーシャルデータを、ジオマップのそれぞれのズームレベルで、対応するジオマップのタイルにカテゴリ分けするために使用される。次いで、属性カテゴリのうちの抽出された新規の個別の属性（例えば、トピック、人、画像）に基づいて、新規のソーシャルデータは、それぞれ対応する個別のカテゴリの計数に追加される。例えば、図3Cを参照して、新規に受信したソーシャルデータが、位置情報、個々の会合のトピック、個人（例えば、オバマ）についての言及（メンション）を有しているものとする。この場合、その位置情報が属するそれぞれのタイル中で（それぞれのズームレベルでこのソーシャルデータが属する1つのタイルがある。したがって、23段階のズームレベルがある場合、それぞれの新規のソーシャルデータは、異なる複数のジオマップ中の少なくとも23のタイルに属する。）、対応する個々のカテゴリ、会合及びオバマについて、それらの頻度に1が加えられる。例えば、会合について、カウント数は5 + 1で6となり、今度は、トピックのカテゴリにおいて会合のトピ

ックが誕生日のトピックの上層にソートされる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3 A

【補正方法】追加

【補正の内容】

【図 3 A】

- ・ トピック:
 - ・ パーティ(10)
 - ・ 会合(6)
 - ・ 誕生日(4)
- ・ 人:
- ・ 画像:

【手続補正 7】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3 B

【補正方法】追加

【補正の内容】

【図 3 B】

- ・ トピック:
 - ・ 誕生日(5)
 - ・ 会合(5)
- ・ 人:
- ・ 画像:

【手続補正 8】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3 C

【補正方法】追加

【補正の内容】

【図 3 C】

- ・ トピック:
 - ・ 会合(6)
 - ・ 誕生日(5)
- ・ 人:
 - ・ オバマ(X+1)
- ・ 画像:

【手続補正 9】

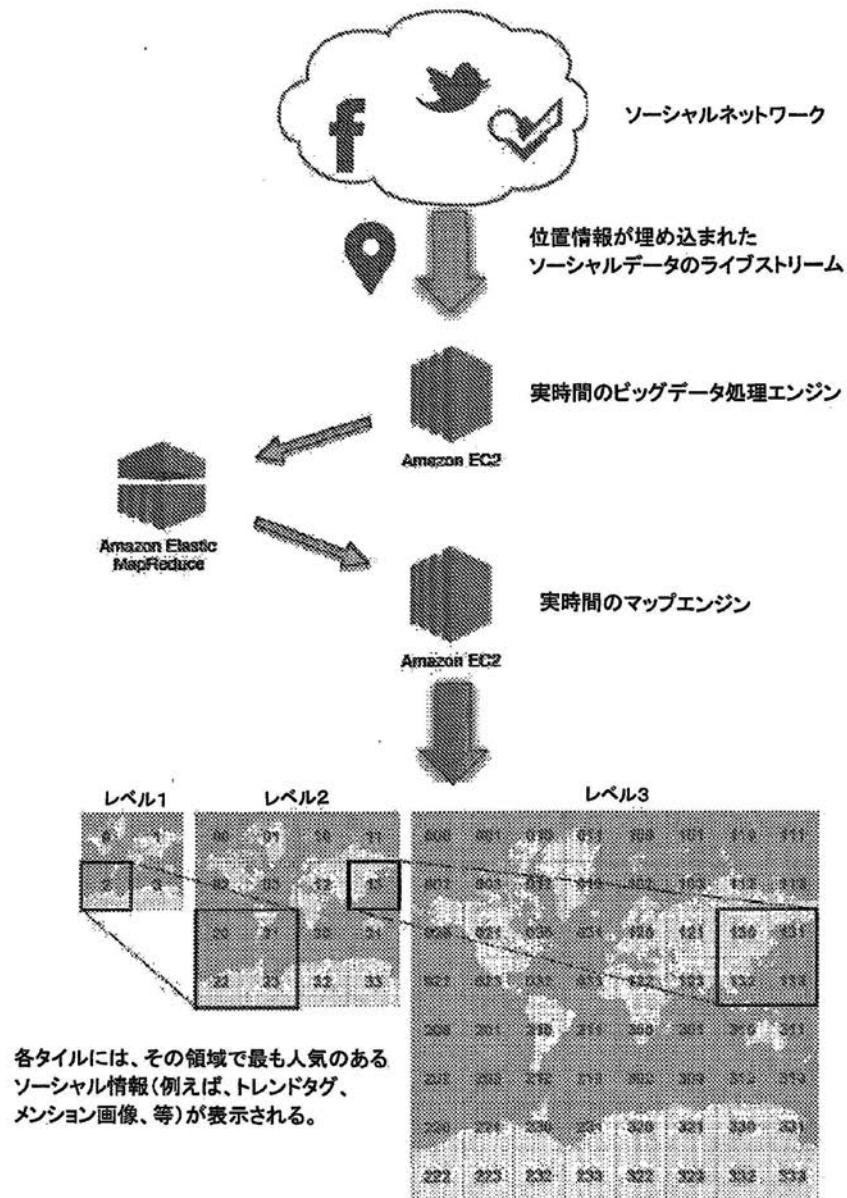
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】追加

【補正の内容】

【 図 4 】



【 手続補正 1 0 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 5

【 補正方法 】 追加

【 補正の内容 】

【 図 5 】

